

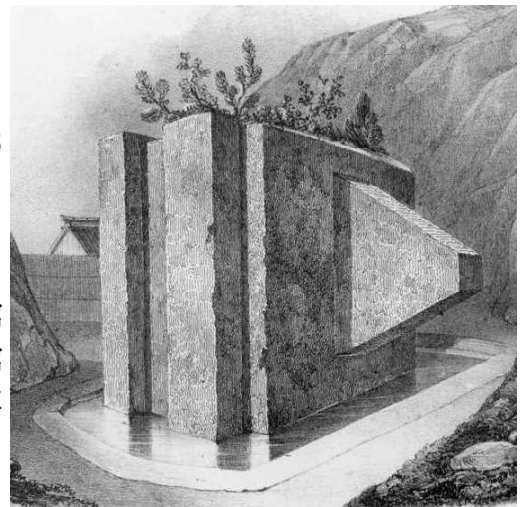


石の宝殿と兵庫県立考古博物館

古墳時代の石棺などに広く各地で用いられた凝灰岩(竜山石)の産出地であった高砂市竜山(たつやま)の麓には「石の宝殿」と呼ばれる不思議な石造物が残されています。幕末の日本を克明に世界に知らせたシーボルトはその大著『日本』にスケッチを掲載しています。現在では生石(おうこし)神社の神体として祀られています。

兵庫県立考古博物館は、兵庫県加古郡播磨町の弥生から古墳時代初期にいたる大中(おおなか)遺跡のそばに建てられています。

Aグループ 福嶋 昭治



上2枚 シーボルト『日本』より 石の宝殿

1:日時 2024年2月8日(木)

2:集合 10:35 JR山陽線「宝殿(ほうでん)」駅
下のJR新快速に都合のいい駅から乗車して下さい。

*京都09:00 高槻09:14 新大阪09:25 大阪09:30 尼崎09:36
芦屋09:44 三ノ宮09:53 神戸09:56 明石10:09 西明石10:13

加古川10:22着 10:29分網干行き普通電車に乗り換え

10:32 宝殿着

3:行程 10:35宝殿駅 11:10石の宝殿・生石神社11:45

12:10宝殿駅12:16 12:30土山駅 12:45兵庫県立考古博物館

13:00博物館内「カフェ すまいる おおなか」で昼食 13:40館内・野外遺跡見学15:10

15:25土山駅15:30米原行き快速に乗車

15:40西明石15:46米原経由敦賀行き新快速に乗り換え(流れ解散)
(16:28大阪着)

4:昼食 兵庫県立考古博物館内の「カフェ すまいる おおなか」で済ませます。メニューを添付します。事前に希望メニューをうかがうことになるかも知れません。お好みのメニューがない場合は、弁当を用意して下さい。

5:雨天中止。中止の場合は前日午後7時にメールします。

6:歩行距離 宝殿・生石神社 往復3.2km

土山・考古博物館 往復2.5km

どちらも平坦な道です。生石神社には神殿と石の宝殿への石段と展望がきく裏山への短い坂道があります。

現在の生石神社と石の宝殿 →

↓兵庫県立考古博物館



大中遺跡 ↓

